

平成27年度(2015年度) 競泳競技国際大会選考方法

◆第16回世界選手権大会(ロシア・カザン 8/2～8/9)

[選考方法]

- 1、選考競技会を日本選手権(辰巳・4/7～12)とする
- 2、選考は、第16回世界選手権大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、リレーの選考は、別途考慮し選考する

*個人種目で金メダルを獲得した選手はその種目に限り2016年オリンピック競技大会出場権を付与する(選考会同種目出場を条件とす

- (1) オリンピック種目で派遣標準記録S・I・II突破者(優勝及び2位)及びリレー標準記録突破者
- (2) 50m背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライ、男子800m自由形・女子1500m自由形で派遣標準記録S・I突破者
- (3) オリンピックでのリレー権利獲得の為のリレー補強

◆第28回ユニバーシアード競技大会(韓国・クワンジュ 7/3～14)

[選考方法]

- 1、選考競技会を日本選手権(辰巳・4/7～12)とする
- 2、選考は、第28回ユニバーシアード大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり準決勝以上に進出した選手の中で種目間の較差を考慮し選考する
- 3、参加有資格者は大学在学中(学生委員会登録者)及び卒業後2年以内(インターナショナルC突破)、年齢は18～24歳とし、最高2回までとする。
- 4、リレーの選考は、別途考慮し選考する
- 5、編成方針(数を含む)は日本オリンピック委員会が決定する(人数は、現在折衝中)

*第16回世界選手権代表者以外から選考する

◆第5回世界ジュニア選手権(シンガポール・8/25-30)

[選考方法]

- 1、選考競技会を日本選手権(辰巳・4/7-12)・ジャパンオープン(辰巳・5/22-24)とする
- 2、選考は、第5回世界ジュニア選手権競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する(1種目・1国2名まで)
- 3、参加有資格者は、FINAルールに準ずる女子14～17歳・男子15～18歳(2015年12月31日を起算とする)(男子:1997年～2000年、女子1998年～2001年)但し、高校3年生の過年生、および大学生は認めない。
- 4、編成人数は未定とする。
- 5、世界選手権出場者の参加も認める
- 6、本大会参加の意思は確認する。

*ジュニアオリンピックはスケジュールの都合上、参加できない

◆ジュニア・オーストラリア遠征(オーストラリア・AIS 5/16・17予定)

日本選手権で選考された世界ジュニア代表選手の希望者から選考する。

◆アジアエージ大会(未定・未定)

[選考方法]

- 1、選考競技会を全国中学(秋田・8/17-19)・インターハイ(京都・8/17-20)・夏季JO(辰巳/8/22-26)とする。
- 2、選考は、アジアエージ大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成は、大会要項に沿って選出する。

*世界ジュニア選手権代表選手は出場できない

◆ワールドカップ2015

[中東/ヨーロッパ/アジアシリーズ]

- 1、選考は、日本水泳連盟選手選考委員会あたり、ワールドカップ編成方針・主旨に沿って選考する
- 2、選考方法及び、選考時期に関してはワールドカップの日程が決定した時点で競泳委員会にて協議する。
- 3、派遣人数は各大会上限4名とする

*ワールドカップ遠征に選考された者は日本開催大会に必ず出場することを条件とする

*インターナショナル以上の自主参加を認める

◆選抜遠征(場所:AUS予定)

- 1、書類選考とし、平成27年度日本水泳連盟インターナショナル選手標準記録突破者とする
- 2、選考は、対象競技大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成人数は、最大20名とする

*オリンピックメダル候補は除外とする

◆ジュニアブロック遠征(未定)

- 1、選考は、各ブロックに一任とし、日本水泳連盟に推薦し、日本水泳連盟選手選考委員会が選考する
- 2、参加有資格者は、中学生及び高校生とする(インターナショナル・ナショナル以外とする)
平成8年4月2日以降に生まれた者(平成26年4月2日を起算とし、18歳未満の者)
- 3、編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 4、編成人数は、未定とする